

● RCE北九州

(北九州ESD協議会)



2011.09.18 RCEワークショップ

三隅佳子

(北九州ESD協議会 副代表)

1、RCE北九州の活動

(これまでの成果、課題、今後の展望)



北九州ESDのビジョン

公正で持続可能な社会（＝世界の環境首都）」の実現をめざして、**市民1人ひとりが、持続可能な開発という概念を理解し、達成するための実践活動が行えるように、あらゆる教育や活動に持続可能な社会づくりの概念を取り入れ、北九州方式の『ESD』を構築し、国内外へ発信する。**

北九州のめざすESD

(1) 感じる・知る

日常生活の中で、課題・問題点を見つけよう

(3) 行動する

解決策を考えついたら、行動を起こそう

(5) 広がる・拡げる

みんなにESDを広めていこう

(2) 学ぶ・考える

課題・問題点が見つければ、その問題を解決する方法を考えるために、学ぼう

(4) つながる

一人より二人。みんな
で活動しよう

(6) 共有する

活動によって得た知識
や経験などを、多くの
人に知らせよう



北九州ESDアクションプラン

短期目標(第1期: 2006年~2007年)

ESD事業を実施するために組織と活動計画をつくり、ESDの概念についての啓発活動を行い、参画主体のネットワーク化とパートナーシップづくりを図る。

- 北九州ESD協議会を設立、事務所の開設、スタッフの配置等、ESD運営・推進体制整備
- ESDについて、協議会の中心メンバー間の共通認識確立
- ESD事業を展開していくための、アクションプランの作成
- ESDファシリテーターの養成
- ESDの概念の普及
- 現在行われている「ESD的」な活動を「ESD」というグローバルな目標の一環である活動であるという認識の確立
- 参画主体のESDに関する活動内容などのデータベース構築
- 参画主体のネットワーク化、パートナーシップの可能性模索
- 北九州ESDのホームページの立ち上げ
- ESD活動を継続していくための財源確保

中期目標(第2期: 2008年~2010年)

参画主体のネットワーク化とパートナーシップづくり、現在の教育の「ESD化」と、新たなESDの開発と普及に取り組む。

- 現在の教育活動を「ESD的」に。方策を研究する
- パートナーシップの構築が可能性と判断した主体に対し、共同研究・学習を推進
- これまでの活動で蓄積された知識・経験・ノウハウなどを国内外に発信

長期目標(第3期: 2010年~2014年)

必要な仕組みを構築し、人財を育成し、市民が「世界一環境意識の高い市民」になること。

- 「ESD的」教育活動の開発
- さまざまなパートナーシップによる共同研究・学習の推進
- 蓄積された知識・経験・ノウハウなどを国内外に発信
- 地域の内外と、知識、経験、ノウハウ、実践手法などの蓄積と共有

北九州のESD	2006	2007	2008	2009	2010	2011
(1) 感じる・知る ESDについて知るために	・北九州ESD協議会全大会を開催		← 各チーム会議、活動報告会(毎年3月実施) →		・環境文化の創造セミナー	・エネルギー勉強会
(2) 学ぶ・考える ESDを学ぶために	・ファシリテーション研修	・ESDファシリテーター養成講座 ・月例学習会	・ESD学習会	・RCE国際シンポジウム(北九州市立大学と共催)	・地域リーダー養成講座 ・大学コンソーシアム関門『ESD入門』 ・テキスト学習会(『ESDをつくる』)	
(3) 行動する ESDを実践するために	・アクションプランの策定		← ESD事例集の作成 →		・藍島プロジェクト(グリーンマップ作り、エコツアー等)	・市民センターを拠点とするESD事業(北九州市内各区)
(4) つながる ESDをさらに進めていくために		・パイロットプロジェクト		・ユースチームの発足	・ESDカフェ(メンバー間の交流) ・個人会員制度の導入	・+ESDプロジェクト登録
(5) 広がる ESDを広めるために		← ESD出前講座、各種イベントに出展しESDのPR(エコライフステージ、未来ホテルデーなど) → ← 【調査・研究事業】…ESD認知度調査、活動の評価 → ・ロゴの公募、未来パレットに決定 ・HP構築	・北九州ESDのリーフレット作成			・リーフレット改訂
(6) 共有する 北九州ESDを世界に共有・発信するために	← RCEとして、国内外のESD活動との連携 → ・RCEの認定を受ける	・韓国スタディツアー(統営・仁川) ・アジアESD-RCE若者会議in仙台	・雲仙にてESD寸劇を公演	・韓国スタディツアー(統営)、統営が北九州を訪問	・韓国スタディツアー(統営)統営が北九州訪問 ・COP10での6RCE連携 ・RCE岡山へのスタディツアー	・韓国スタディツアー(統営、蔚州) ・震災チャリティコンサート



北九州ESD協議会

北九州ESD 通年の活動

ESDを広めるために(イベントでの広報)

- ・北九州市環境ミュージアム主催
「未来ホテルデー」
北九州市環境イベント
「北九州エコライフステージ」
へブース出展



- ・年度ごとに活動報告会を開催

ESDに関する基調講演、
チーム別活動発表、
劇団プチボのESD劇場など

- ・出前講座



北九州ESD 2006年度の主な活動

- ① ESD協議会発足
(2006年9月28日)
- ② 北九州ESDアクションプランを作成
- ③ 環境省「国連持続可能な開発のための教育の10年促進事業」を受託
- ④ 国連大学より「地域の拠点(RCE:Regional Centre of Expertise)」に認定(2006年12月8日)
- ⑤ ESDについての勉強会開催
- ⑥ ESDの普及活動





短期目標(第1期):2006年~2007年

北九州ESD 2007年度の主な活動

- ①RCEとして、国内外のESD活動との連携
韓国(トンヨン・インチョン)スタディツアー実施
- ②ESDファシリテーター養成講座
- ③月例学習会
- ④ESD出前講座マニュアル(パワーポイント)作成
- ⑤モニタリング調査



中期目標(第2期):2008年~2010年

北九州ESD 2008年度の主な活動

- ① 広報誌「未来パレットだより」の発行開始
(年3回)
- ② 協議会内外へむけた情報発信と学習会の開催
- ③ アジアESD、RCE若者会議in仙台への参加
- ④ モニタリング調査

北九州ESD 2009年度の主な活動

①韓国スタディツアー、RCEトンヨン受け入れ

②北九州市内
ESDバスツアーの実施

③ユースチームの発足

④環境文化の創造セミナー(ESD講座)



- 韓国スタディツアー実施(トンヨン)
- RCEトンヨンの受け入れ

期間:平成21年12月17日~23日(7日間)

そばうち体験(西日本工業大学)、
若松エコタウン見学、北九州市役所訪問、
環境ミュージアム見学、大学生間交流など



・RCE国際シンポジウムの開催

「アジアESDの魅力~各都市から学ぶ環境教育・まちづくり~」
北九州市立大学主催/北九州ESD協議会共催

平成21年12月19日 会場:北九州市立大学

参加人数:70名

北九州ESD 2010年度の主な活動

【新規事業】

- ①市民センターESD拠点事業
- ②ESD地域リーダー養成研修
- ③ESDカフェ(交流会)の開催
- ④大学コンソーシアム関門にて「ESD入門」開講



ESDカフェ



大学コンソーシアム関門

ESDカフェ(交流会)の開催

ESDの広報ツールとしての交流イベントを開催。(北九州ESD協議会広報プロジェクトが企画・運営)団体間のネットワーク構築及び一般へも参加を呼びかけ、ESDの普及を図る。

日時: 2010年9月4日(土)

会場: 東田エコクラブ

プログラム

- ・2010年度韓国スタディツアーの報告会
- ・協議会加盟団体の活動発表
- ・九州海外協力協会による、世界の食卓から文化の多様性を感じるワークショップ体験
- ・食事をしながら意見交換、交流。



大学コンソーシアム関門にて 「ESD入門」開講

「ESD(持続可能な開発のための教育)入門」

〈授業概要〉

北九州ESD協議会のメンバーが講師となって、オムニバス形式で講義を展開。(西日本工業大学に科目提供いただき実現)

期間:2010年9月13日~17日

講義会場:西日本工業大学小倉キャンパス

■大学コンソーシアム

関門地域(北九州市および下関市)にある6大学(北九州市立大学、九州共立大学、九州国際大学、下関市立大学、西日本工業大学、梅光学院大学)から成る大学コンソーシアム関門は、各大学が相互に連携・協力することにより、関門地域の高等教育の充実および発展を図るとともに、地域社会へ貢献することを目的として設立されたもの。



市民センターESD拠点事業

北九州市各区にESDの活動拠点を設けようと、市民センター等の公共施設へ出向いて活動を展開中。

小倉南区

若園市民センターを拠点に若園ESD実行委員会を立ち上げる



会議の様子

こくら南ふくし劇団 プチボによる
環境をテーマにした指人形劇



パネル展示

市民センターESD拠点事業

戸畑区

戸畑図書館で、年5回の学習会を実施



ESDを学んだ後にワークショップ



ダンボールコンポスの講座後、実際に堆肥を使って花壇作り



市民センターESD拠点事業

小倉北区

小倉港からフェリーで約30分で渡ることができる藍島。藍島の自然を活かしたESD活動の可能性を探るため、藍島の資源(特に海洋関係の)をアクティビティとして活用しながら、大学生を中心にツアーや調査を行う。



散策後、グリーンマップ作成

市民センターESD拠点事業

若松区

「みどりの回廊若松よりESDを発信！」

若松秋桜会では、みどりの回廊若松など環境ボランティアに取り組み、未来の地球環境をより良いものにするため、足元から着実に行動を起こし、身近な3R活動を広げ、若松区へのESD活動の展開を図っている。



市民センターESD拠点事業

門司区

- ・松ヶ江南市民センターにて、市民向け講座の中でESDの主旨・概念説明等を展開。
※市民人権講座、生涯学習市民講座、夏休み環境講座など。
- ・清見市民センターでESDプロジェクト始動

八幡西区

2010年11月13日

熊西市民センターでESD講座を開催。

(参加者20名)



市民センターESD拠点事業

八幡東区 「枝光南市民センター」 レモンの壁画



2011年度韓国スタディツアー

- 1 訪問先 ・韓国のRCE ・統営(トンヨン)市 ・蔚州郡
- 2 日程 2011年8月19日(金)~22日(月)(3泊4日)
- 3 団員 学生、一般、事務局 合計 16人



伝統工芸体験



トンヨン市役所訪問



グリーンマップ作り



トンピラン(壁画の町)



長期目標(第3期): 2010年~2014年

韓国スタディツアー2011 今年は新たに RCEウルチュを訪問



信友牧場



ウルチュ郡庁訪問



ミルクスクール見学



牛乳製品を試飲

活動の成果(まとめ)

- ESD実施のための組織作りの基盤整備が行われた
- 参画主体間のネットワーク化・パートナーシップの構築が徐々に進んだ
- 現在の教育の「ESD化」の普及・啓発・推進を行った
- パートナーシップ間の共同研究・学習、事業化の促進
- 現在の教育活動を「ESD」的にしていく方策の研究に着手した
- 国内RCE・ESDとの交流による情報・知識・経験・ノウハウの共有が図られた
- 国外のRCE(主に韓国の3RCE)との交流によってESD・RCEについての理解・認識が深められた

課題

- (1) 認知度が低い ⇒啓発体制の充実を図る
- (2) ネットワーク化とパートナーシップの強化
- (3) 学校教育におけるESDの促進を図る
- (4) 地域と学校(連携づくりの推進)
- (5) ESDを促進するための学校及び地域のコーディネーターの育成
- (6) 行動できる一人ひとりのESD化、団体のESD化の促進
- (7) 北九州ESD公式テキストブックの作成
- (8) 事務局運営体制と財政的基盤の充実

展 望

- (1) 北九州地域の人々がESDを実践
～世界の環境首都実現～
- (2) 北九州地域みんなが住みやすいまちづくり
を行う
- (3) RCEを通して世界とつながる
- (4) そのために各セクターが協働し、ESDを推
進する仕組みをつくる

2、震災復興支援について

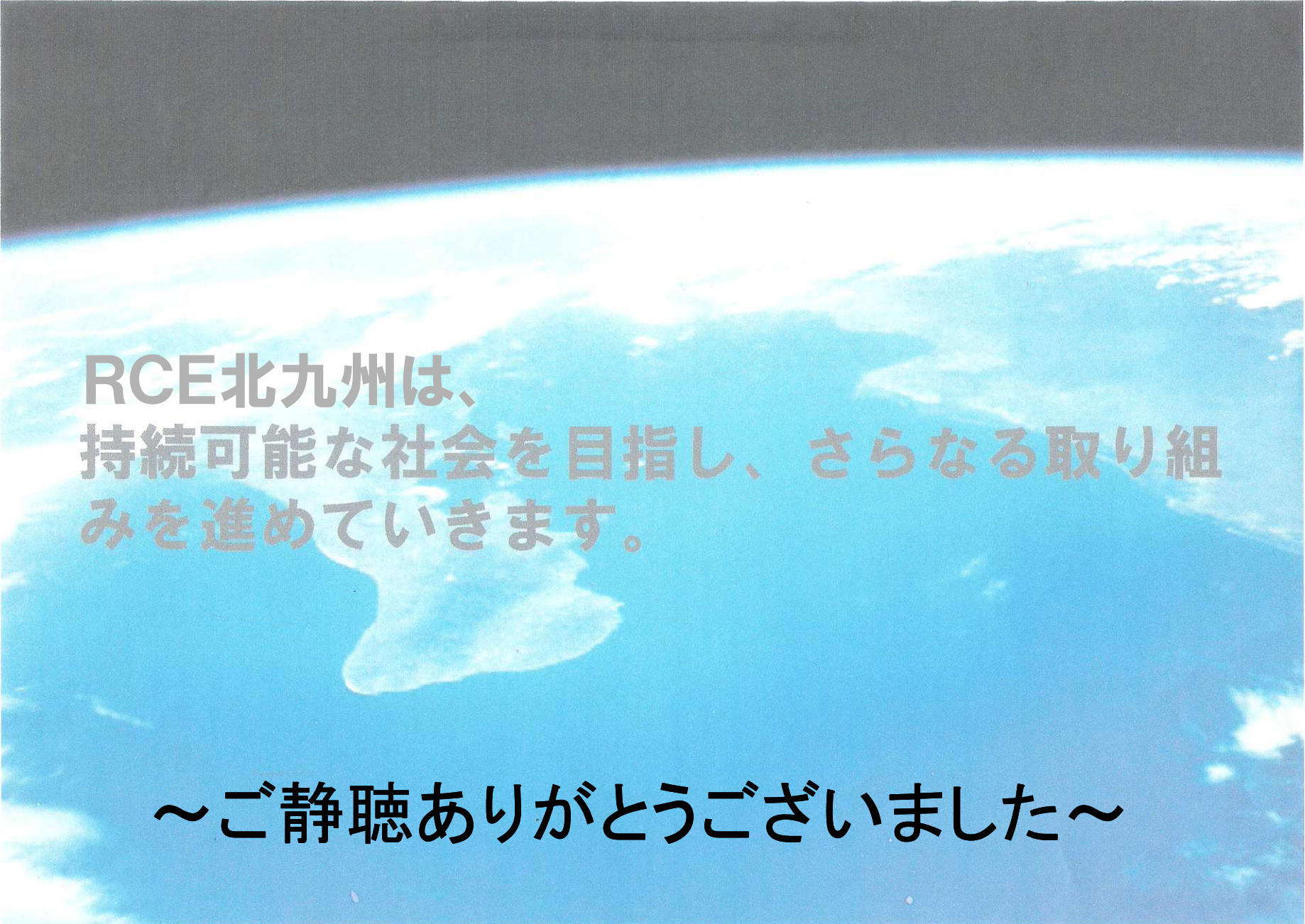


■ これまで

- 2011.03.19 活動報告会にて募金活動
- 2011.07.03 ESDカフェにて、「震災」をテーマに大学生と社会人が話し合い考える
- 2011.07.31 全国フェミニスト議員連盟 北九州大会の分科会にて、「ESDの視点から防災教育とエネルギー環境教育」をテーマに発表。福島県飯舘村で農業を営んでいた村上真平氏の講演も行う。
- 各団体の活動、各メンバーの震災ボランティア
- エネルギーについての勉強会 ※テーマは“エネルギーとジェンダー”(今後も継続)

■ 今後

- 2011.12.12 「仙台広域圏RCE・ESDと北九州RCE・ESDをつなぐ 東日本大震災復興支援チャリティコンサート」の開催
- 被災地女性支援活動



RCE北九州は、
持続可能な社会を目指し、さらなる取り組みを進めていきます。

～ご静聴ありがとうございました～